



News Release

2024年11月11日

※2024年11月4日にドイツ・ヘンケル本社が発表したリリースの日本語訳版です。本リリースは英語が原本であり、その内容・解釈については英文原本が優先します。

「意義ある成長」アジェンダのさらなる進展: 気候保護のコミットメントを拡大 ヘンケル、ネットゼロ目標を決定

デュッセルドルフ - ヘンケルは、「意義ある成長」アジェンダのサステナビリティビジョンに従い、ネットゼロへのロードマップを示し、バリューチェーン全体の排出削減目標を大幅に拡大しました。ネットゼロの達成に向けて、ヘンケルは以下の目標を定めました。

- 2030年までにスコープ1および2の温室効果ガス(GHG)排出量総量を42%削減する(基準年:2021年)
- 2030年までにスコープ3のGHG排出量総量を30%削減する(基準年:2021年)
- 2045年までにスコープ1、2、3のGHG排出量総量を90%削減する(基準年:2021年)

これらの新しい目標は、企業がパリ協定をふまえてネットゼロ目標を設定するための支援を行う企業の気候変動対策組織である「SBTi(Science Based Targets initiative: 科学的根拠に基づく目標イニシアチブ)」による検証も受けました。

ヘンケル最高経営責任者のカーステン・クノーベルは、「私たち全員が責任を持って、パリ協定で定められた通り、地球温暖化を1.5°Cに抑えるために協力しなければなりません。私たちはすでにそのしきい値にあまりにも近づきすぎています。したがって当社は、バリューチェーン全体における具体的な行動を示し、2045年までに温室効果ガス排出量のネットゼロを達成するために、気候変動に関するコミットメントを拡大しました」と述べています。

新たなネットゼロ目標はバリューチェーン全体の排出量をカバー

ヘンケルの新しいネットゼロ目標は、以前の気候目標に比べて、より広範なバリューチェーンをカバーしています。スコープ1とスコープ2の排出目標は、生産工程からの排出だけでなく、オフィスビル、倉庫、研究開発、保有車両を含むすべての事業活動を包含しています。

スコープ3の排出削減目標は、バリューチェーンの上流と下流の両方で生じるヘンケルの間接排出をカバーしています。この科学的根拠に基づく新たな目標は、原材料やパッケージからの排出に加えて、ロジスティクスや製品のライフサイクル終了時の処理などからの排出も含みます。さらにこ



の目標には、CO₂ のみならず、COP3 で採択された京都議定書で定められた 7 つの温室効果ガスのすべてが含まれます。

「ネットゼロ」とは、人間が生み出すすべての温室効果ガスの排出を、それを大気中から除去することによって相殺することを意味します。これは、SBTi の「企業ネットゼロ基準」のもとでは、例えば革新的な炭素回収技術などを通じて残余排出量を中和する手法を採用する前に、直接的な削減措置によってバリューチェーン全体(スコープ 1、2、3)の排出量総量を少なくとも 90%削減した状態とされています。

最大の排出削減

ヘンケルの自社拠点での直接的な削減措置は、主に、エネルギー効率の改善と再生可能エネルギーの使用拡大によって残りのエネルギー需要をカバーすることに重点を置きます。ヘンケルの購入電力(再生可能エネルギー由来の電力)の割合は、すでに世界全体で 89%に達しています。ヘンケルは先ごろ、ヨーロッパのコンシューマーブランド事業部のすべての生産工程をカーボンニュートラルエネルギーに転換するという重要なマイルストーンを達成しました。

サプライチェーン上流の CO₂ 排出の評価を次の段階へと進めるために、ヘンケルは、[世界中のサプライヤーを対象とした包括的なエンゲージメントプログラム](#)「Climate Connect」を立ち上げました。このプログラムは、排出データの収集、削減に向けた共同行動、サプライヤーの継続的なアップスキリングを通じて、両事業部門のバリューチェーン全体の脱炭素を進めることを目的としています。

さらにヘンケルは、アドヒーズ テクノロジーズ(接着技術)とコンシューマーブランドで使用される低排出・再生可能・リサイクル原材料の割合をさらに増やすための取り組みも進めています。

ヘンケルは、サステナブルパッケージ戦略のもと、包装材料の使用量を最小限に抑えるとともに、低排出・リサイクル・再生可能パッケージの割合を最大化することにより、排出削減に貢献しています。例えば、ヘンケルの一般用接着剤の[カートリッジに使用される新型パッケージのコンセプト](#)は、使用済み製品由来のリサイクルプラスチック(PCR 材)を最大 95%使用することにより、バージンプラスチックの使用量を大幅に削減します。このイニシアチブはヨーロッパ全域で展開されています。

スコープ 3 の排出量の大部分は製品アプリケーションの段階で発生するため、ヘンケルは的を絞ったコミュニケーションを通じて、消費者に対し、より責任感のある行動を促したいと考えています。これらの排出に直接影響を及ぼすことはできないため、ネットゼロ目標の設定から除外されていますが、例えばヘンケル コンシューマーブランドの「[It starts with us](#)」イニシアチブなどを通じた消費者教育に今後も力を入れていきます。このキャンペーンは、消費者の日常生活でのより資源効率の高い製品使用法を提案するものです。

当社の気候目標の詳細については、ヘンケルの「[気候移行計画](#)」をご覧ください。

ヘンケルについて

ヘンケルはブランド、イノベーション、テクノロジーにより、産業およびコンシューマー向け事業において世界中の市場をリードしています。アドヒーズブ テクノロジーズ(接着技術)事業部門は接着剤、シーリング剤、機能性コーティング剤市場のグローバルリーダーとなっています。コンシューマーブランド事業部門は特にヘアケアやランドリー&ホームケアの分野において、世界中の市場やカテゴリーをリードする地位を維持しています。ヘンケルには 3 つの強力なブランド、LOCTITE(ロックタイト)、Persil(パーシル)、Schwarzkopf(シュワルツkopf)があります。2022 年度の売上高は 220 億ユーロを超え、営業利益はおおよそ 23 億ユーロでした。ヘンケルの優先株は、ドイツ株式指数 DAX のリストに入っております。ヘンケルには長いサステナビリティの歴史があり、具体的な目標を掲げた明確なサステナビリティ戦略を推し進めます。1876 年に創業したヘンケルは現在、世界に 50,000 名以上の社員を擁し、多様なチームが強固な企業文化、共通の価値観とヘンケルの社員をひとつにまとめる共通基盤である企業目的「Pioneers at heart for the good of generations」の元に結束しています。さらなる情報はこちら www.henkel.com をご覧ください。

ヘンケルジャパンホームページ: <http://www.henkel.co.jp>

ヘンケルジャパンフェイスブックページ: <http://www.facebook.com/HenkelJapan>

本情報には、Henkel AG & Co. KGaA.の経営陣による現在の予測および仮定に基づく将来の見通しが含まれています。将来予測に関する記述とは、英文中 expect, intend, plan, anticipate, believe, estimateなどの語句や同様の表現の使用を指しています。この情報に含まれる将来予測は、弊社経営陣による現時点での予測と予想に基づくものです。これらの記述は、その予測が結果的に正しくなることを保証するものではありません。Henkel AG & Co. KGaA.とその関連会社は実際に達成する将来の業績と結果は、多くのリスクと不確実性に左右されるため、将来予測に関する記述とは大きく異なる可能性があります。こうした要因の多くは、経済状況や競合の活動、その他市場要因など、弊社のコントロールを超えるものや事前に正確に予測することができないものです。ヘンケルは、これら将来予測をアップデートする意向はなく、またそれに関するいかなる義務を負うものでもありませんので、ご了承ください。

本資料には、適用される財務報告枠組みの中で明確に定義されておらず、代替的業績指標(非 GAAP 指標)であるかまたはその可能性のある補足的な財務指標が含まれています。これらの補足的な財務指標は、単独で解釈すべきではなく、また連結決算報告書に適用される財務報告枠組みに従って表示されたヘンケルの純資産、財務状況または経営成績の代替的な指標と見なすべきではありません。類似の名称の代替的業績指標を報告または記載している他の企業は、かかる指標を、ヘンケルとは異なる方法で計算している可能性があります。

本資料は情報提供のみを目的としており、投資助言を提供するものではなく、有価証券の売却の申し出または購入の勧誘を構成するものではありません。

Contact

Hanna Philipps

Phone: +49 211 797 - 3626

Email: hanna.philipps@henkel.com

Sina Pfanschilling

Phone: +49 211 797 - 9904

Email: sina.pfanschilling@henkel.com

Kathrin Brokmeier

Phone: +49 211 797 - 8605

Email: kathrin.brokmeier@henkel.com

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

ヘンケルジャパン株式会社 広報室 小野尾 秀美

TEL: 03-5783-1219 e-mail: hidemi.onoo@henkel.com